



# こんにちは ひぐち英明です

333号 2018年5月20日 連絡先：日本共産党左京地区委員会 Tel761-6341  
左京生活相談所 Tel781-6622

ホームページ：

## 5・3憲法集会in京都 左京からは「みんなのデモ」で参加



5月3日、安倍改憲NOと開かれた憲法集会in京都に3000人が参加。

左京からは、恒例の「みんなのデモ」で百万遍から円山音楽堂までパレードしながら参加しました。



住宅に囲まれている「民泊」施設  
この施設も管理者は不在

施設においては、フロント（玄関帳場）などへの管理者の常駐を義務付けることになりました。ところが、一軒家が、

京都市内で（左京区内でも）、「民泊」営業による、迷惑行為に関する相談が絶えません。問題が起こる最大の理由が、管理者が常駐していない無人「民泊」

施設があることです。共産党市議団は、「民泊」施設に管理者の常駐を義務付けるよう、繰り返し議会で求めてきましたが、5月の議会に提案された条例案では、旅館業法に基づ

## 旅館業法に関する条例改正案

### 「民泊」の無人営業は許されない

を「民泊」施設にする場合、フロントを施設外部の離れた場所につくることができ（サテライト型玄関帳場、との例外規定がつけられており、これでは、事実上、「民泊」の無人営業が可能となってしまう。

こんな抜け穴を許すわけには行きません。

## 過労死ラインを超える長時間勤務が常態化する京都市

### 8時間働けば普通に暮らせる社会を

京都市の職員が4年前に過労死していたことが、今年になって報告されています。しかし、それ以降も、過労死ラインを超える月100時間

以上の時間外勤務をしている職員は、昨年よりも170人前後に及んでいます。

これだけの人がいれば、過労死してもおかしい。しかし、

管理者の常駐を義務付けるなど、市民と旅行者がともに安心して快適

と感じられる環境をつくる必要があります。

## 写真トピックス



←京建労左京支部定期大会であいさつ



京建労左京支部主婦の会総会であいさつ



←「朝鮮半島の平和の激闘」学習会

## ひぐち英明.com ホッと・コム

朝起きたら、次女（中学3年生）が作ったプリンが冷蔵庫にありました。妻が寝る前に「プリンが食べたい」とつぶやいていたのを聞いて、こっそり作ったよです。

出来合いのプリンの素ではなく、卵と生クリームとゼラチンで作られたプリンはとても美味しくて好きです。こっそり作っていたプリン、そのおいしさを、妻も一度のくせです。

さて、北朝鮮が韓国と首脳会談を行い、板門店を両首脳が手を取り合いながら行き来した映像を見て、本当にびっくりしました。その「核のない朝鮮半島の美現」（両国が核兵器を持たない）、「朝鮮戦争の終戦」などで合意したと聞いて、更にびっくり。北朝鮮が、核兵器の実験場を開鎖するとのニュースもすでに入ってきています。米朝の首脳会談も予定されており、平和に関する動きが急速に進んでいます。

日本共産党は、対話による北朝鮮の核開発をやめさせることを一貫して主張してきました。北東アジア平和協力構想などを提案し、各国に示してきました。今回の動きはその方向での前進であり、さらに加速されるよう望んでいます。

一方、安倍政権の反心は鈍く、マスコミでも「蚊帳の外」と評価されていることは、恥ずかしい限りです。